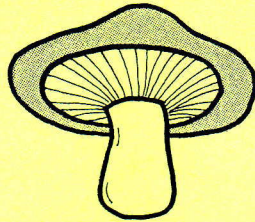


伝笑鳩



今月の一笑



郵政民営化に反対か否か？
どちらにユウセイ？ 投票箱
(八王子市 平井幸雄)

人生をユーモラスに見るようになれば これは達識の人である アメリカンジョーク

曾田英夫

狂歌NEW門

Ω いつものことと 笑ってごまかす Ω

- ◆この狂歌 発表しても 笑いなし いつものことと 笑ってごまかす
- ◆妻がまた ダメな亭主と 罵倒する いつものことと 笑ってごまかす
- ◆美女と酒 緊張しすぎ すぐに寝る いつものことと 笑ってごまかす
- ◆がんばれと 人事考課が 低すぎる いつものことと 笑ってごまかす

Ω どうにかしてよ 決断せまる Ω

- ◆台風が こないようにと してほしい どうにかしてよ 決断せまる
- ◆年取れば 通勤ラッシュ 疲れ増す どうにかしてよ 決断せまる
- ◆わが上司 相談しても 逃げ腰で どうにかしてよ 決断せまる
- ◆金余り 貯金をしたが 利がつかず どうにかしてよ 決断せまる

石井志津夫

メッセ貝も笑う

☆三位一体改革の失速懸念
酸味一杯だ

小泉首相

☆禁輸と高騰でピンチ
二枚舌は使えない

牛タン店

☆増税
第四のビールを開発して！
消費者

☆大相撲売れぬ前売り

のこった、のこった

相撲協会

☆登録

知床—世界自然遺産に
うち—ゼロ遺産で

☆写真集出版

人気の“立役者”になった
風太君

「汚れてもうれしいものは」

(秀逸) 夫からのプレゼントされた手編みのセーター 大田区 高 栄子

<評>原稿には手垢まみれの初作品とありましたが、そこまで言わずとも。

入選	家庭菜園での収穫	京都市	牟礼	丈夫
入選	すべり込みセーフ	稲城市	藤井	敬三
入選	掘り出しものの骨董	横浜市	鈴木	びん子
佳作	ボランティア作業の終了	伊勢原市	武井	美雄
佳作	どろんこ運動会の優勝	岩手県	片山	敦夫
佳作	小学一年生の新しい雨靴	文京区	稲葉	浅治
佳作	屑籠の中の一万円	高知市	高橋	満子
佳作	優勝のユニフォーム	さいたま市	高木	正明
佳作	初歩きの孫へプレゼントした靴	松戸市	岡野	殷子
佳作	孫と遊ぶ部屋	横浜市	阿部	浩
佳作	抱き起こした坊やの笑顔	仙台市	藤沢	浪子
佳作	娘が嫁ぐときの戸籍	佐倉市	笠原	宏之
佳作	花嫁衣裳	市川市	中條	厚

次回の題 「まだまだ死ねないと思うものは」

送付先：〒157-0071 世田谷区千歳台1-30-14 神山 徹

〆切：10月10日ハガキ又はFax 03-3484-7123で。秀逸・入選に図書券贈呈

門口泰宣 阿呆リズム&パロディ

1. インシュリン注射を打ちながら飲酒するのは体によくはない
2. ♪名も知れた 遠き六本木より 刺客が一人 流れよる
古巣の社長を離れずに なればそも亀井に殴りこみ♪ (椰子の実)
3. ♪郵政選挙に てぐすねひいて 賛否を問われる嬉しさに
公示前から 飛んで行きます 落下傘 ここがここが反対派
執念の議席を とりましょうね♪ (東京だよおっかさん)
4. 暴力部長 困ッタイ・トマドマイ高校
5. 秋バきぬと 目にはさやかに見えねけど TXの音にぞ驚かぬる
6. 幻想即興曲が得意でした ピアノマン

藤井敬三

ユーモア川柳「ああ、出会い」

初対面 手配写真を 思い出し

握手より 名刺が先の 日本人

窓際は アポがなくても すぐに会え

方言で 話がはずむ 初対面

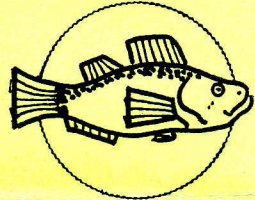
面接試験 一期一会を 繰り返す

シワの中 面影さがす クラス会

会うたびに 髪の毛増える この不思議

挨拶で 口も疲れる 山登り

寅さんの 出会うマドンナ 美女ばかり



高木正明

コミックどどいつかわら版

- Φさすが純ちゃん 拓さんよりも 好きなくノー 刺し向ける
- Φ刺客出したら 刺さねばならぬ それが非情の 小泉流
- Φ行きもヤレヤレ 帰りも怖い タイル剥がれた 事故シャトル
- Φ手抜き工事が 地震でばれて 落ちた業者と 吊り天井
- Φ少しゴロゴロ 鳴ったら避難 やはり雷 臍が好き
- Φ江戸に憑かれた 杉浦日向子 お江戸巡りに 逝ったまま
- Φホラ吹きタレント 上沼恵美子 申告漏れして またお灸
- Φ加齢運転 能力低下 痴呆も混じって 事故多発
- Φ親はパチンコ 熱中性で 幼児は車内で 熱中症
- Φ自殺しようと ネットで誘い 死ぬ気なかった 殺人鬼
- Φサファリーパークへ ライオンツアー 餌に見られて 逝く不運
- Φ連覇の駒大 苫小牧にも 暴力沙汰あり 処分待ち

東京都/稲葉 浅治

川柳 「のんびり」

- * のんびりと してたら過ぎた 締切日
- * 明け六つに 起き暮れ六つに 床の中
- * 妻の掌の 上でのんびり 定年後

暑さ去り 夏ばてしなく がんばろう ジョークサロンで 大いに笑って (曾田英夫)

佐藤忠恕

○ ユーモア四文字熟語

① () 死 () 生 (起死回生)

(仮) 死 (蘇) 生

水に溺れたけど生き返ったって。

② () 固 () 徹 (頑固一徹)

(断) 固 (虎) 徹

刀剣の愛好家だが虎徹しか集めないんだ

③ () 婚 () 祭 (冠婚葬祭)

(求) 婚 (村) 祭

村祭りは今で言えば出会い系サイトってとこかな

④ () 善 () 悪 (勧善懲悪)

(慈) 善 (嫌) 悪

表面的な慈善家が多くて嫌いだ。

○ 通信販売にちなむ川柳を

『通販の Tシャツ 隣と お揃いに』

『通販と コンビニ 息子の 命綱』

『情報は 通販、携帯 漫画から』

『纏め買い 余って 近所に おすそ分け』

○ 小噺

『熱中症』

八つつあん： ご隠居さん、知ってますか。大工の留さんが暑さでぶっ倒れたってこと。

ご隠居さん： なんだって！。ここんところの猛烈な暑さのせいだろ？酷かったからな。

八つつあん： それもちよつとは関係あるんですがね、実は留の奴、隣の美代ちゃんを左官の玄さんと張り合ってたね。物の弾みで我慢比べに負けたら手を引くってことになって、お互いカンカンに炭を熾した火鉢に跨って綿入れ 5 枚着た上にどてらを羽織って、熱々の鍋焼きうどんを食ってぶっ倒れたんで。

ご隠居さん： いかにも留さんらしいが、確かに急激に体内の水分を汗で失うと熱中症になるってことだ。特に滝のような汗って一のが危ないそうだ。ただ流れるばかりで、蒸発しないから、身体が冷やされないんだそうだ。それで留は？

八つつあん： 我慢比べの見物に来ていた奴らが驚いて、水をぶっ掛けたり団扇で扇いでいる内に、一旦は正気に戻ったんですがね。

ご隠居さん： そいつは良かった。若いって一のはいいもんだ、下手をすると本当に熱中症になっちゃったら後々大変らしいからな。

八つつあん： でもまだ続きがあつて、留の奴ったら、介抱してくれたのが美代ちゃんとばかり思ってたらしいんですが、実はタバコ屋の寅婆さんだつてことに気がついた途端、2 度目の失神をしちまって、今度は救急車で病院に運ばれるって騒ぎになったんですよ。まだ、病院にはいるんですがすっかり元気になって、今じゃー、患者仲間と将棋ばかりやってるそうですぜ。

ご隠居さん： なんだ留の奴は、熱中症になり損った挙句の果てに、今度は将棋に熱中ってわけなのかい。

そこで狂歌を

『例年に ない暑さでも やり過ぎす 冷や汗かいて その場を凌ぐ』

『暑さには 負けぬ健康 大切と 運動過ぎて 熱中症に』

年金で 初めて黒の 小遣い帳

(今月は残った、現役の時はいいパイパイで、母ちゃんに頭下げて恵んでもらったりしてな、こんなに自由に使えるの、生まれて初めてだよ、もっと早くしたかったな。何言ってるのよ、私が儉約しているのに、いい気にならないで、余ったら出してよ)

自衛隊 兵器精鋭 敵はなし

(昔の軍隊は兵器が古くてがたがただったからね。それで戦争したんだ。戦っているうちに使えなくなるんだ。今はいくら戦っても壊れることないよ。だけど敵がいらないんだ。ごっこのおもちゃかい)

美人妻 白髪染めても 人目ひき

(容色衰えるなんてうそね。あの奥さん70だって。そんな風には見えないわ。基がいいと得ね。旦那さんにも困るんじゃない。何の苦労もないからよ。私なんか悩みが多くて。だから40で崩れたじゃない。それは基だよ)

二世の子 スタート台が 二段上

(社長の子には会社がある、政治家の子には地盤がある、タレントの子にはファンがいて、出発点が違うんだよ。ゼロからは上がるのとの差だな。かないっこないよ。いい親持てば、“ぼくは幸せだなあ”になるのさ)

甲子園 飛球の先には 札の束

(みんな夢中だね。プロに行かれるからだよ。大学なんかに行っていられるかっていうことだよ。札の桁が違う。親の目の色が変わるよ。だって親が一生かかっても取れなかった額を最初にもらんだからね。こんな親孝行ないよ)

相続税 口では苦情 手には幸

(税が高くってね、苦労したよ。売ったのかい。安くたかかれてね、損しちゃった。でも残ったんだろう。税務署はきついね。あと継いだんだろう。何とか。結局財産持ちの旦那になったということじゃないか。まあね。それを先に言えよ、幸せになったんだろう)

意気上がり 徒党を組んで すぐに割れ

(同士だ、一緒にやろう。結社は自由だ。あれっ、同じものを立ち上げた奴がいる。そっちへ行く？いくつあってもいいんだけど節操ないな。渡り鳥でいいんだ。うまい餌のある方へ移るっていうわけか。それが自由というものさ)

印南博之

大

娯

解

日本の夏 緊張の夏

1. 垣根の穴から裏庭のぞき 行水する人見てみたい
2. 夕涼みよくぞ男は昔の話 キャミにへそ出し見せパンツ
3. 差す手引く手に提灯ゆれて 恋の生まれる盆踊り
4. ドンとあがった花火の音に ガバと身を伏すイラク人
5. 全国いっせい打ち水デーに ボクも一役マヌカンピス (小便小僧)
6. ほしい夕立なかなか降らぬ たまの朝立ちままならぬ
7. 田んぼの蛍が見えなくなって 今じゃベランダほたる族

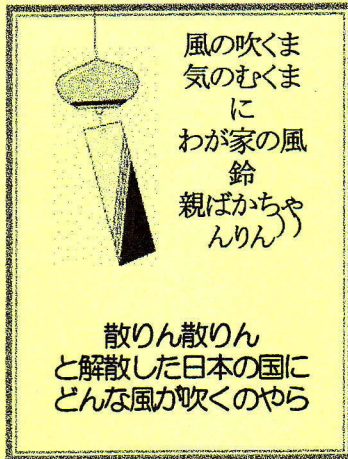
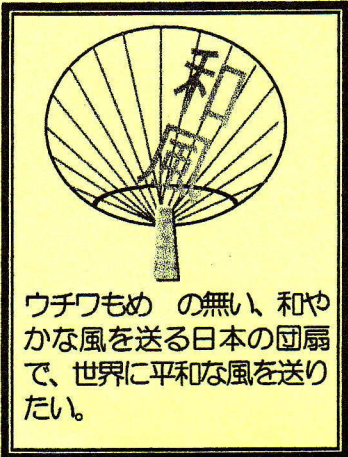
わ もってとうと なす
和を以って貴しと為す

平井幸雄

『和』は「日本の・・・」という意味以外に、「温和」や「柔和」という「おだやかな」「なごやかな」「やわらげる」という意味があります。また、「調和」や「平和」「講和」などのように、「気が合う」「なかよくする」という意味の『和』でもあります。音楽の世界で『和』は、「和音」や「和声」として使われ、「韻や調子をあわせ」ます。他に、「混和」すなわち「ませあわせる」の意味があり、数学ではたし算の『和』でもあります。料理では「ごま和え」「和えもの」などに『和』の文字を使います。2つの味を単に足すというより、2つの味がわかり、また別の味を醸し出す『和』は意味深長であります。



日本の暑い夏は、『和』で装い、『和』の風情で、『和』食を味わうのが、暑さを和らげ、体調を整える最高の方法ですね。ところが、冷静に戦争のない平和を考える、一方で熱い選挙戦を戦う世間はなんとも皮肉ですね。今年の日本の夏の世相を、和風な物で風刺し、和んでみました。



岡野殷子 縮んで伸ばして 手を打って笑ってね

- ☆ 地図で探すチーズの産地
- ☆ ビルは地に建ちビールは泡立ち
- ☆ 広き空からソーラー電池
- ☆ 時計は狂わず 統計は狂う
- ☆ シソは香草、思想は考想
- ☆ 株は投資、カーブは投手
- ☆ ハブは恐ろし ハーブが香んばし

京都市/広川友雄

ダジャ連発

「地震で一音する機械は？」「??？」
「ミシン、ミシンさ」

奥村篤史 アッシー君のヨット体験 玉すだれ

ダイビング仲間の一人、小平市役所勤務のK氏の別荘に泊まり、山中湖でヨット体験しよう企画が整い、この歳では多分最後のヨット経験であろうと8月19日-21日参加。一行は7名。「☺ 寄ってらっしゃいとヨットハーバーが言えど 私や酔つとるバーバーが好きさ」とアッシー君「☺ 酔つとる経験数々あれどヨット経験ただ1度」。この体験記を南京玉すだれで演じます。

先ずはご免をこうかしまして、近頃、京・大阪・江戸、三ヶの津におきまして流行り来るは、唐人阿彌陀南
京無双玉すだれ。竹なる数が36本、糸の数が70と2結び。糸と竹との張り合いを持ちまして、変幻自在
様々な形をご覧に入れます。ではヨット体験記を玉すだれにて演じます。

1. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと返せば千ヨイと伸びせば 玉川上水小金井橋だよ おらが地元の出発点
小金井橋がお目に止れば 元へと返す 元へと返す
2. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと伸びせば千ヨイと返せば 富士のお山にさも似たし おらが一行目的地
富士のお山がお目に止れば K氏の別荘に早や変われ
K氏の別荘がお目に止れば 元へと返す 元へと返す
3. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと返せば千ヨイと伸びせば 山中湖でございませう
山中湖がお目に止れば 元へと返す 元へと返す
4. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと返せば千ヨイと伸びせば 浮かぶヨットでございませう
浮かぶヨットは 行きつ戻りつ くるくる回ってザンザン 見事に転覆いたします
中々中々戻らぬし やつと戻れど前に進まず
アンヨでバタバタ アンヨでバタバタ 陸へと返す 陸へと返す
5. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと返せば千ヨイと伸びせば 山中湖の魚でござる
バタバタヨットに キョギョッと驚く魚でござる
驚く魚がお目に止れば 監視の見張り台に早や変われ
監視の見張り台がお目に止れば 元へと返す 元へと返す
6. アさて、アさて、アさて、さて、さて、さて、さては南京玉すだれ
千ヨイと返せば千ヨイと伸びせば 無事の帰還を祝う万国旗でございませう
万国旗がお目に止れば 打上げ花火も上がります
ドドーン ドドーン ドドーン ドン ドドーン ドドーン ドドーン ドン

<8月例会出席者>

8月24日開催

安藤晴康・石井志津夫・印南博之・岡野殷子・奥村篤史・佐藤忠恕・曾田英夫・高木正明
野口修正・平井幸雄・藤井敬三・門口泰宣

野口さんは印南さんのご紹介による初参加です。印南さんと同じくやはりJA関連のお仕事である、肉用牛振興基金にお勤めです。JAはひょっとすると(Joke Agency)の略でしょうかね。そのうちにビーフティフィルなジョークを作ってください。長かった猛暑も終わりに近づき、次回例会の頃は秋の気配濃厚となるでしょう。

<変集鳥だより>

- #1 「ユーモアスピーチの会」の横浜支部の7月度例会に「楽園生活」という雑誌の取材が入り9月号に記事が掲載されました。当日の参加者でインタビューに応じられた方の発言を記します。世話人の一人、庄司ヤス子さんは「この会に参加するようになってから、物事を明るく考えるようになりました。コミュニケーションが希薄な時代だからこそ、生活の中にユーモア精神が必要だと思えます。目指せ、ユーモアの達人ですね。笑いを伝えて、世の中がもっと明るくなればと、日々面白いこと探しのアンテナを張っています」元パイロットの自称飛行少年、石垣忠昭さんは「以前は講演会の場で思い通りに話せず、苦い思いをしました。ここで場数を踏むうちに度胸も愛嬌も身についてきたのは勿論、人と気軽に会話が出来ようになったことは自分でも驚いています。いつか是非、今の若い人たちに、大空のロマンや、引退後に初めて体験した九州・天草の青い海や、星空の美しさ、いつでも夢を持ち続けることの素晴らしさを伝えたい」。当支部は鈴木ぴん子さんがリーダーであり、彼女の天真爛漫な性格に魅かれて参加者が集まってきました。毎月第4木曜日午後2時から神奈川県民センターで開催されています。ジョークサロンの姉妹グループとして、益々の隆盛を祈っております。
- 問合せは鈴木：045-331-6587 (ほほえみユーモアスピーチの会)

- #2. 「伝笑鳩」郵送希望者の切手(1年分80円X15枚)等は下記の住所にお送り下さい。
〒236-0052 横浜市金沢区富岡西5-34-26 門口泰宣 Tel/Fax 045-773-6074
U.R.L.: <http://homepage3.nifty.com/tsukude/tjoke> /Eメール: cmonchan@r8.dion.ne.jp
10月度例会: 10月26日(水) 午後6時半~内神田社会教育会館7F第一研修室

伝笑鳩No.192

発行: 2005.9.28
 変集鳥: 門口泰宣
 変集協力: 曾田英夫/石井志津夫
 高木正明/藤井敬三
 平井幸雄/佐藤忠恕
 中條 厚/印南博之
 奥村篤史/岡野殷子

総編集: 天野秀雄
 発行所: 同巢会ジョークサロン

切手・カンパ受領一覧(敬称略)



2005.8.14~2005.9.17



仙台市/本間良子 岐阜市/古川昭子
 京都市/広川友雄 佐倉市/野口修正
 川口市/高橋友季子 町田市/青木 孝
 東京都/高原 真・堤 淳一・藤野哲康
 新座市/渡辺知子 長野県/須山ケサ子
 横浜市/田和久美